５年国語「自然環境を守るために」

2026年11月11日（水）
5年4組　35名
指導者　末次　弥矢

１．単元名　資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう
「自然環境を守るために」

２．指導について

４月からはノートにメモ欄を設け、授業中に大切だと思ったことを記録する習慣を身に付けることに重点を置いて指導してきた。メモ欄には、教師が話した大切な内容や、よいと思った友達の意見、新出漢字、調べて分かった言葉の意味などを授業を受けながら書き留めるように促している。必要な情報を自分で選び、記録することを通して、学習内容を整理するとともに、後から振り返り、次の学習に生かす「自律」の力を育んでいる。また、分からない言葉や新しく知ったことについて、自ら調べたり考えたりすることを大切にし、疑問を解決しようとする「挑戦」の姿勢も育てている。

９月からは、授業で「オクリンクプラス」を活用し、自分の考えを友達と共有したり、友達の意見と自分の考えを比較したり、互いに助言し合ったりする活動に取り組んでいる。友達の考えと自分の考えを比べることで、共通点や違いに気付いたり、自分にはなかった考え方を取り入れたりできるようにしている。このような友達との学び合う「協創」の学びとして、互いの考えを尊重しながら、自分の考えを広げ、深めていけるように指導している。

国語科では、３・４年生において、説明的な文章を読む中で、段落相互の関係に着目し、考えとそれを支える理由や事例との関係を捉えたり、中心となる語や文を見付けて要約したりする学習をしてきている。また、調べたことをまとめて報告する学習などを通して、事実とそれを基に考えたことを結び付け、自分の考えを文章に表すことも学習してきている。このような学習をふまえて、５年生では、「新聞を読もう」の学習で、見出しや写真、記事の内容から必要な情報を読み取ったり、図表などの資料から情報を得たりする学習に取り組んでいる。さらに、本単元の「固有種が教えてくれること」の説明文の学習では、文章全体の構成や事実と筆者の主張との関係を捉えるとともに、本文と資料を結び付け、資料が筆者の主張を支える大切な役割を担っているということに気す付いている。

本単元の後半で学習する「自然環境を守るために」では、これまでに学習してきた文章や資料から情報を読み取る力、情報同士を関係付けて整理する力を生かし、世界の環境問題について自分が関心をもったテーマを選んで調べ、自然環境を守るために自分たちでできることを考え、資料を活用し、自分の考えを文章にまとめる学習を行う。その際に自分が関心をもったテーマや自分たちができること、資料等を整理したスライドを作成し、「オクリンクプラス」を通して学習を進める。そして、資料から読み取った事実と、そこから考えたことを文章に表し、そこで取り上げた資料が自分の考えを支える根拠となっているかを確かめ、自分の考えが読み手によく分かるように書き表し方を工夫するように指導していきたい。また、「オクリンクプラス」を活用して互いの考えを共有するとともに、自分の考えと友達の考えを比較し、意見交換をしたりアドバイスをしたりすることで、自分にはない視点や考え方に気付き、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしていきたい。

自分が関心をもったテーマに基づき、読み手がよくわかる文章を書くために、必要な情報を集めて学習を進める「自律」、環境問題の解決に向けて資料を根拠に粘り強く考え、具体的な提案を生み出そうとする「挑戦」、友達の考えを尊重し、互いの意見を生かしながら考えを広げたり、深めたりする「協創」を意識して学習を進めていく。さらに、本単元の学習で身に付けた「資料を活用して自分の考えを表現する力」を、６年生での学習へとつなげるとともに、後期課程で求められる複数の情報の比較・関連付け、根拠の適切さや情報の信頼性の吟味、論理的な文章表現へと発展させていくことをめざしている。

３．単元目標

(1)原因と結果など情報と情報との関係について理解する。〔知識及び技能〕(2)ア
(2)「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるよう　　に書き表し方を工夫する。〔思考力、判断力、表現力等〕B「書くこと」(1)エ
(3)言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕

4. 指導計画(全10時間)

【固有種が教えてくれること】

第一時　　本文を読み、感想や疑問を共有し、文章全体を「初め・中・終わり」に分ける。
第二時　　各段落の内容を整理し、固有種と自然環境との関係について読み取る。
第三時　　本文と写真・図表などの資料を結び付け、資料が使われている理由を考える。
第四時　　事実と筆者の考え・主張を区別し、主張を支える理由や具体例を整理する。
第五時　　文章の要旨をまとめ、本文と資料を結び付けて読むよさを振り返る。

【自然環境を守るために】

第六時　　自然環境について、自分たちの関心から調べるテーマを設定し、自分が書く文章の見通しをもつ。
第七時　　目的に合った情報を集め、事実と自分の考えを区別しながら整理する。
第八時　　集めた情報を比較・整理し、自然環境を守るためにできることを考える。
第九時(本時)途中のスライドを見せたり、助言したりしてよりよいものへと改善する。
第十時　　成果物を発表し、互いに感想を伝え合い、学習を振り返る。

5. 本時の学習

◯　グループ同士で途中の資料やスライドを見せ合い、改善し発表に向けての準備をする。

【読解力向上NARAプランにおける指導のポイント】

⑨図や表、グラフを活用して文章にまとめさせる。

学習活動	指導の要点
1. 本時の流れを確認し、めあてをつくる。	・前時までの流れを確認し、本時の見通しをもつ。
2. 自分で考えながらスライドを作成していく。【自律学習】	・はじめは自分一人で考えてスライドの作成に臨ませる。
3. 友達と交流したり、引き続き自分で考えたり、教師に聞いたりしながらスライドを完成させる。【協創学習】	・困ったときにどのように解決していくのか、児童自身の判断を尊重し、自分で動き出せるようにする。 ・黒板に貼ってある氏名マグネットを見て進捗状況を確認し、支援する。
4. 本時の学習のふり返りをする。	・めあての達成状況についてや、次時にどのように改善したいかなどについて振り返らせる。